

表象文化論学会 第4回大会

2009
7月4^土→5^日

7月4日[土] 京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス 春秋座

共催
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

13:00 開場
13:30-14:30

第I部 シンポジウム
開会挨拶: 渡邊守章 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター 所長

無料(会員・非会員とも)

「免疫・多孔・液晶——表象文化論のアクチュアリティ」

学会会長・東京大学 京都大学 東京大学 神戸大学 東京大学
問題提起: 松浦寿輝 応答の試み1: 岡田温司 応答の試み2: 田中純 (コメンテーター) 前川修 (司会) 小林康夫

15:30 開場
16:00-

第II部 京舞 解説・公演・シンポジウム
挨拶: 浅田彰 京都造形芸術大学 大学院長 解説: 渡辺保+渡邊守章

全席指定席 ◆要学生証提示
会員=無料/非会員=1,500円/学生=500円

京舞……井上八千代——地歌『珠取海女(たまとりあま)』

シンポジウム……「京舞と現代の舞踊芸術」

京舞井上流五世家元 放送大学客員教授・演劇評論家 京都造形芸術大学
井上八千代 + 渡辺保 + 渡邊守章 (司会) 森山直人

7月5日[日] 京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス 人間館4階 NA402 NA403 教室

事前登録不要 会員=無料/非会員=1,000円

10:00-12:00

研究発表
1 怪物・悪・偶然
NA402 —— 侵犯される自己性

「社会契約論」の中の「良心」 飯田賢穂(東京大学)
顔貌と怪物性——新古典主義建築における裝飾と「性格(キャラクター)」の問題系 小澤京子(東京大学)
バタイユの「人間」——「無神学大全」における「悪」の概念を通じて 大池惣太郎(東京大学)
(コメンテーター) 大橋完太郎(玉川大学) (司会) 三河隆之(東京大学)

研究発表
2 ポスト・ミディウム・
NA403 エステティック

実写・アニメーション・身体——モーション・キャプチャーを中心に 石田美紀(新潟大学)
拡張する写真——ネイサン・ライアンの「残像」展(1967)を手掛かりに 日高優(群馬県立女子大学)
「間メディウム性」の系譜学 堀潤之(関西大学)
(コメンテーター) 北野圭介(立命館大学) (司会) 堀潤之

14:00-16:00

研究発表
3 <瞬間>へのまなざし
NA402 —— 戦間期のホーフマンスタール、K・ファレンティン、ユンガーを手がかりに

<瞬間>を「見る」ということ——ホーフマンスタールの Augenblick の機能について 寺井弘子(京都女子大学)
笑いの瞬間、笑う群衆——コメディアン、K・ファレンティンの姿と観客の視線 撰津隆信(早稲田大学)
瞬間の知覚と立体的知覚——E・ユンガーの知覚概念について 大泉大(早稲田大学)
(コメンテーター/司会) 高橋透(早稲田大学)

研究発表
4 共感覚の地平
NA403 —— 共感覚は「共有」できるか?

感覚のマイノリティ——共感覚と共感覚者をめぐるフィクション 北村紗衣(東京大学)
日本人共感覚者(海外在住経験者)の文字認知 湯澤優美(トランスコスモス)
共感覚の情報処理 高藤賢爾(慶應義塾大学)
(コメンテーター) 折田明子(中央大学) (司会) 門林岳史(関西大学)

16:30-18:30

研究発表
5 ドゥルーズの逆説的
NA402 保守主義

物質に付け加わる主体性——ジル・ドゥルーズにおける思考の受動性の問題 国分功一郎(高崎経済大学)
「時間イメージ」における反ベルクソン主義 佐藤嘉幸(筑波大学)
暗号と縮約——ドゥルーズ、アブラハム+トローク、デリダ 千葉雅也(日本学術振興会)
(コメンテーター) 小泉義之(立命館大学) (司会) 佐藤嘉幸

研究発表
6 Moving Picture
NA403 —— イメージのなかの身体

写真/彫刻的身体——19世紀末の身体表象に関する一考察 増田展大(神戸大学)
硬直する身体、揺れる映画——19世紀末~20世紀初頭における映画と医学の関係性についての一考察 松谷容作(神戸大学)
Archiving Football Images——ハルン・ファロッキの「Deep Play」(2007)について 鈴木恒平(神戸大学)
(コメンテーター/司会) 佐藤守弘(京都精華大学)